
新型コロナウイルス感染症にかかる 県内の感染動向等について

対象期間 1月16日～1月22日

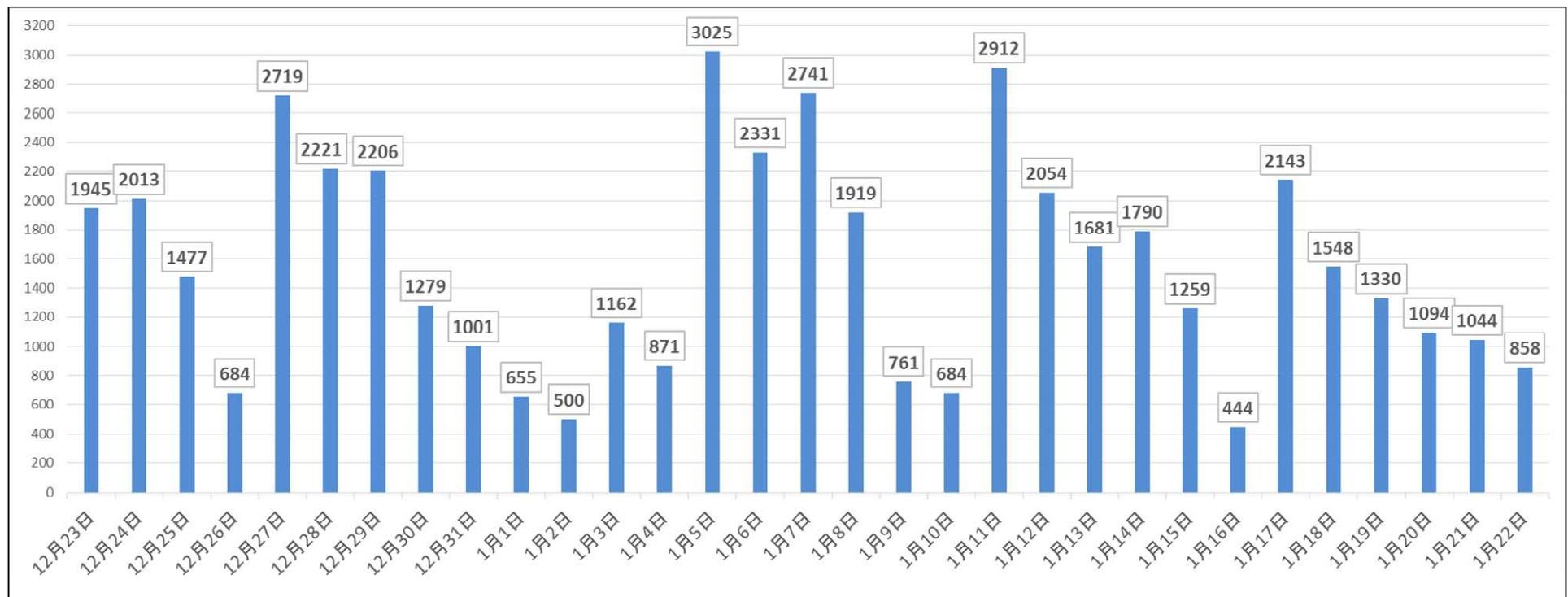
1月24日 健康医療福祉部感染症対策課

1、県内の感染状況について

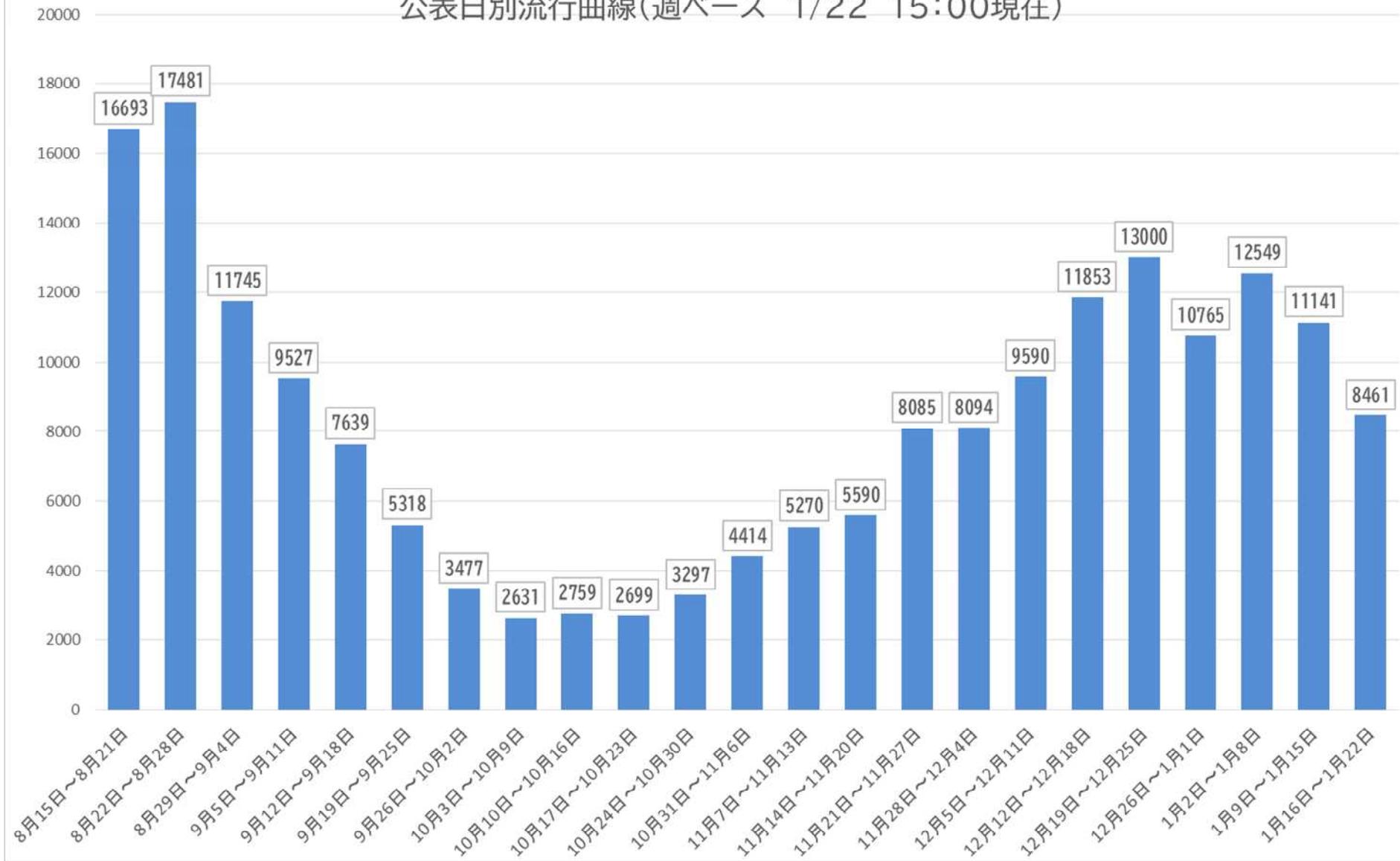
1) 県内の陽性者発生状況

	新規感染者数
今週の報告数(1/16~1/22)	8,461人
累計(1/22現在)	354,639人

2) 公表日別感染動向(1/22現在)



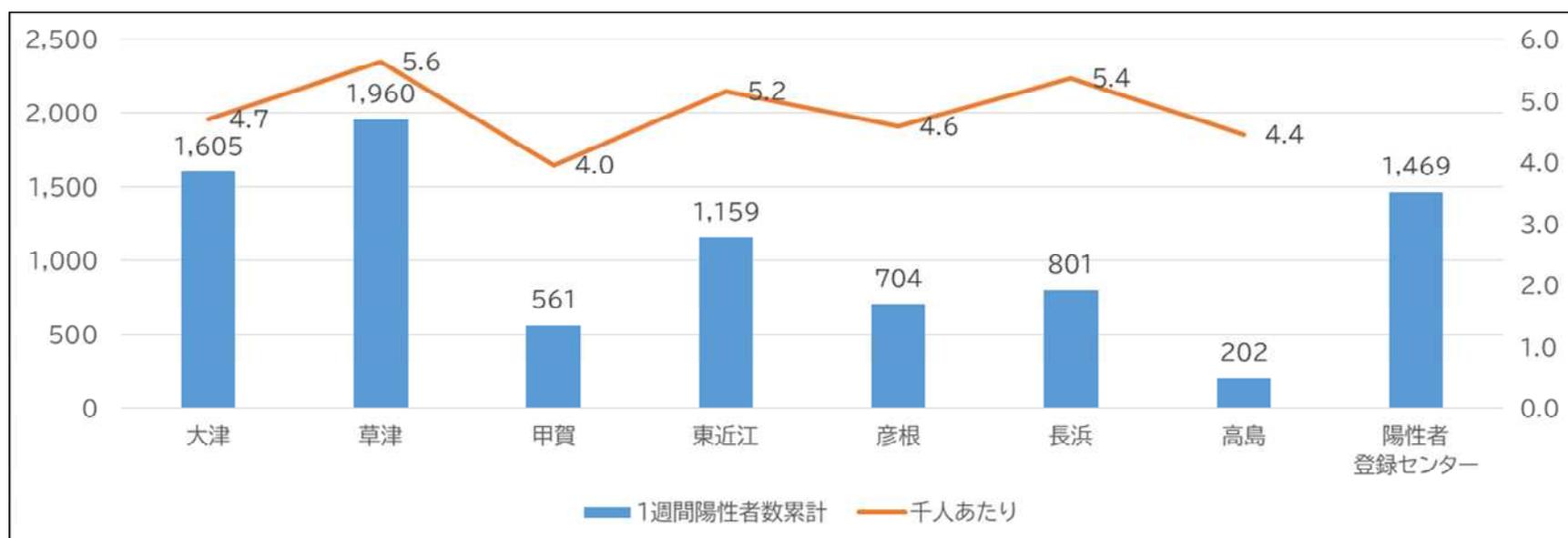
公表日別流行曲線(週ベース 1/22 15:00現在)



3)医療圏別の陽性者発生状況(1/22現在)

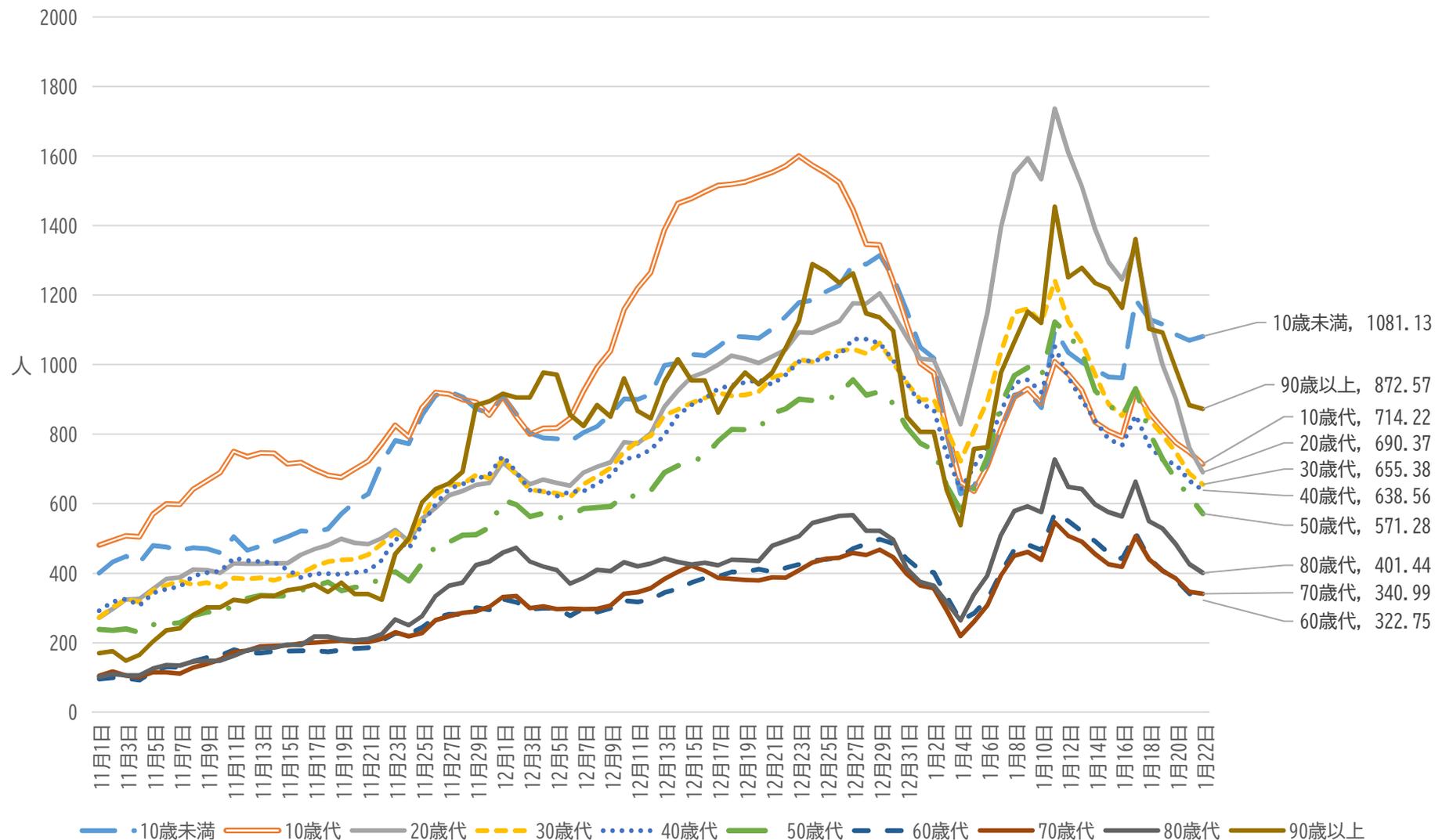
※報告医療機関の所在地別集計であり、実際の患者の居所と一致しない場合があります。

	大津 (大津市)	草津 (草津市・守山市・ 栗東市・野洲市)	甲賀 (甲賀市・湖南市)	東近江 (東近江市・近江 八幡市・日野町・ 竜王町)	彦根 (彦根市・愛荘町・ 豊郷町・甲良町・ 多賀町)	長浜 (長浜市・米原市)	高島 (高島市)	陽性者 登録センター	合計
1月16日	87	47	15	10	25	44	0	216	444
1月17日	262	545	140	379	242	212	78	285	2,143
1月18日	359	381	110	192	129	143	21	213	1,548
1月19日	288	320	84	179	97	104	23	235	1,330
1月20日	222	258	74	136	66	84	42	212	1,094
1月21日	205	242	58	157	91	98	28	165	1,044
1月22日	182	167	80	106	54	116	10	143	858
合計	1,605	1,960	561	1,159	704	801	202	1,469	8,461

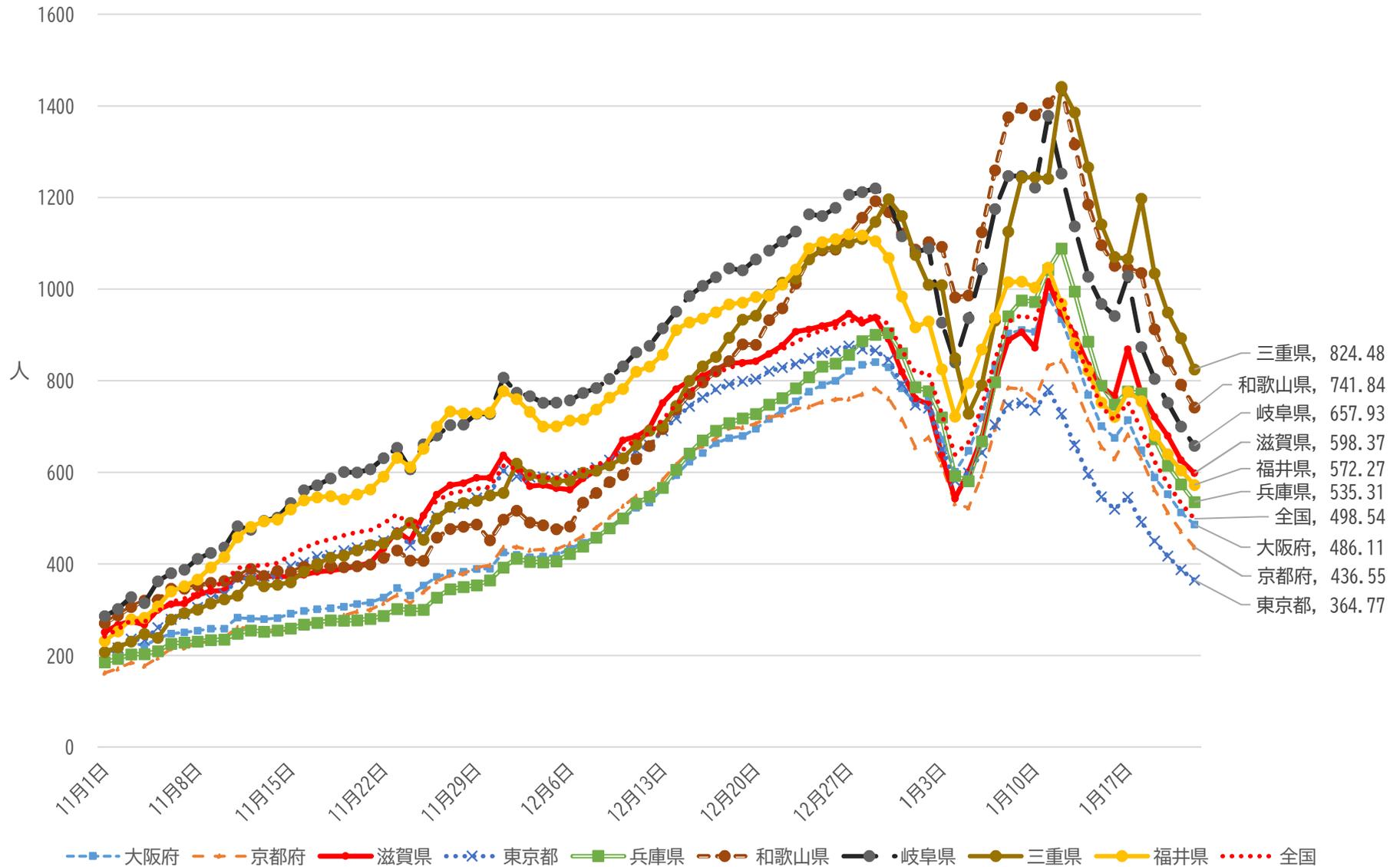


4) 年代別 10万人あたりの新規感染者数推移

(公表日 直近7日間の累計患者数) (R4.11/1 - R5.1/22)



5) 近隣府県等の10万人当たりの新規感染者数の推移 (直近7日間の累計患者数) (R4.11/1-R5.1/22)



2、県内の感染状況・各指標の状況について(1/22現在)

1)県内の病床数および宿泊療養施設の状況

病床数	入院者数			空床数
		県内発生	その他	
501	376	347	29	125

宿泊療養 部屋数	療養者数			その他	空数
		県内発生	県外発生		
518	81	81	0	41	396

2)県内の陽性者発生状況

陽性者累計	入院患者 (県内発生)				死亡
		軽症	中等症	重症	
354,639	347	237	105	5	590

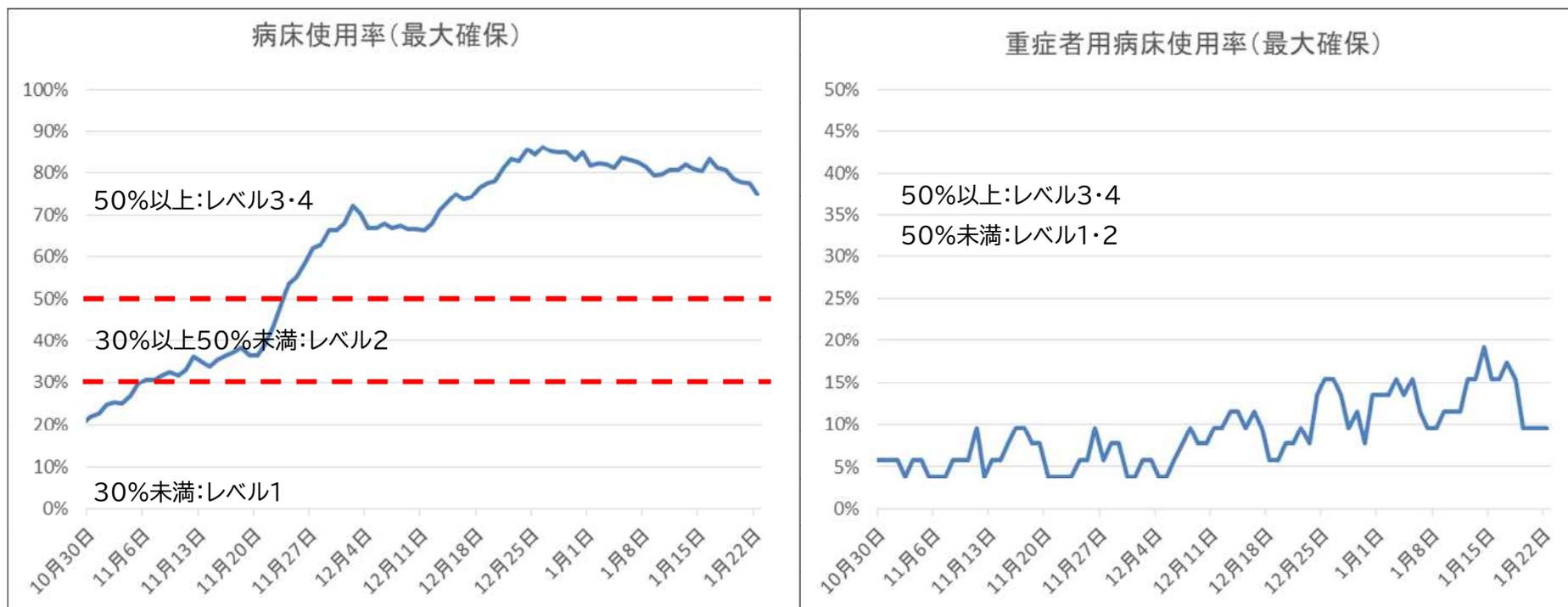
重症:ICUに入室または人工呼吸器・ECMO(体外式膜型人工肺)が必要
 中等症:酸素投与が必要

3)各指標の状況

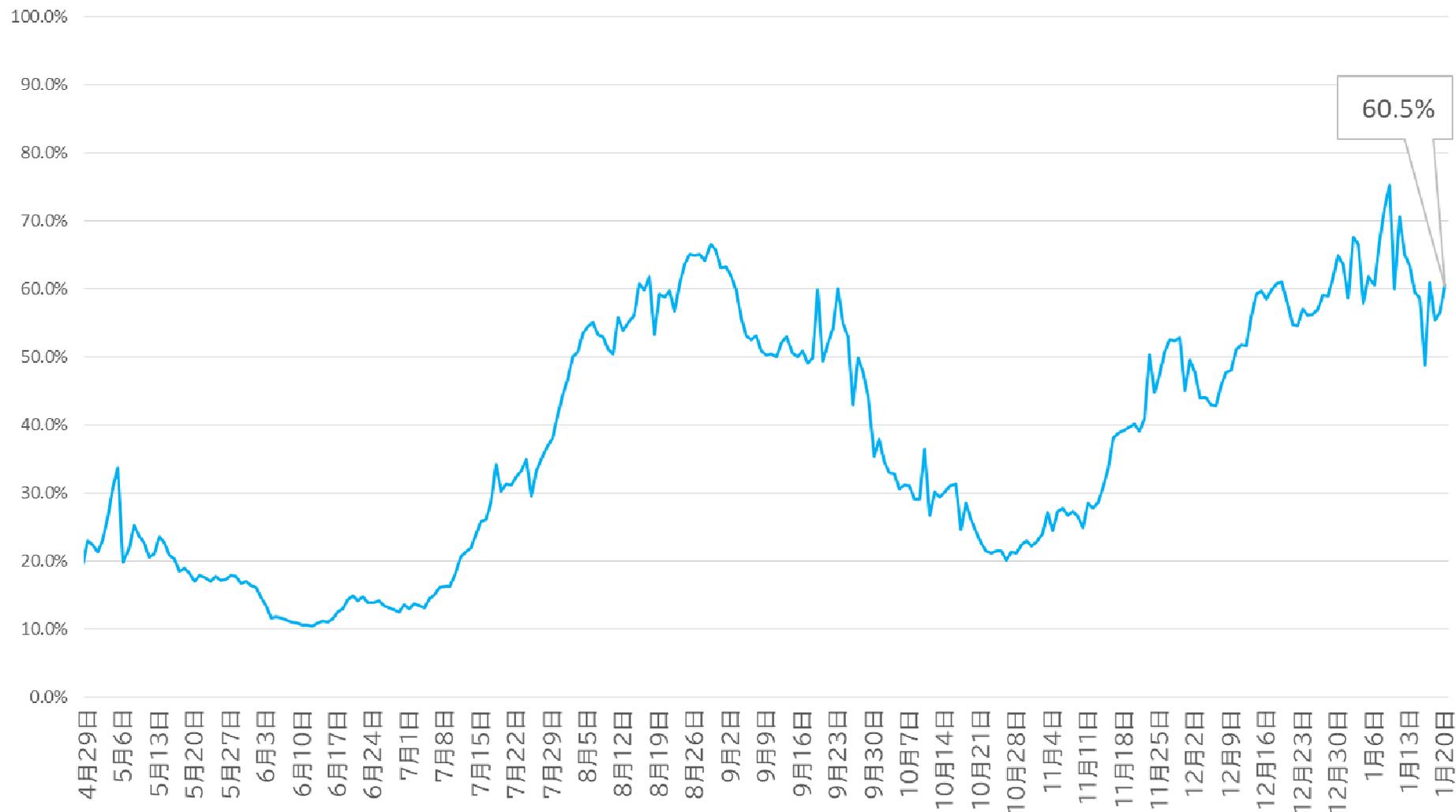
現時点の確保病床の占有率※1	75.0%	
最大確保病床の占有率(レベル判断指標)※2	75.0%	
うち重症者用病床の最大確保病床の占有率(レベル判断指標)※3	9.6%	
直近1週間における人口10万人当たりの新規報告数	598.4人	
直近1週間と先週1週間の陽性者数の比較※4	少ない	
直近1週間のPCR等陽性率※5	60.5%	
	PCR等検査数(直近1週間分)	15,882件
	PCR検査数(累計)	1,230,428件

※1 現時点の確保病床の数、501床に対する割合
 ※2 ピーク時に確保予定である病床数、501床に対する割合
 ※3 ピーク時に確保予定である病床数、52床に対する割合
 ※4 直近一週間の陽性者数が先週一週間に比較し多いか少ないか記載
 ※5 報告受領件数(抗原検査を含む)に基づく陽性率(自己検査・無料検査は含まない。)

4)各レベル判断指標の推移

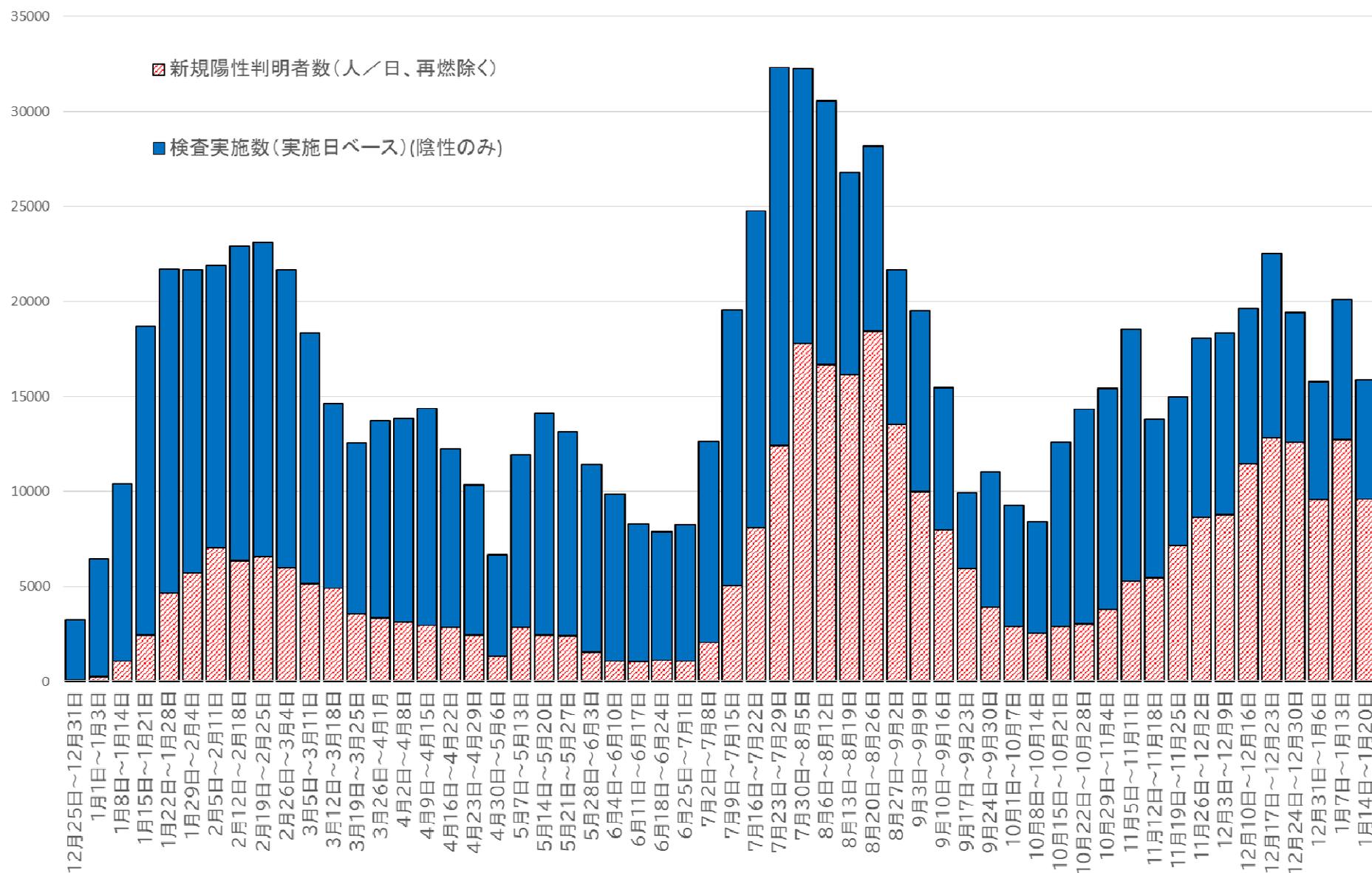


5)陽性率の推移(7日間移動平均)



陽性率の7日間の移動平均（その日までの7日間の平均）を見ると、1月20日現在の陽性率は60.5%でした。※検査実施日ごとの報告件数（抗原検査を含む）に基づく陽性率

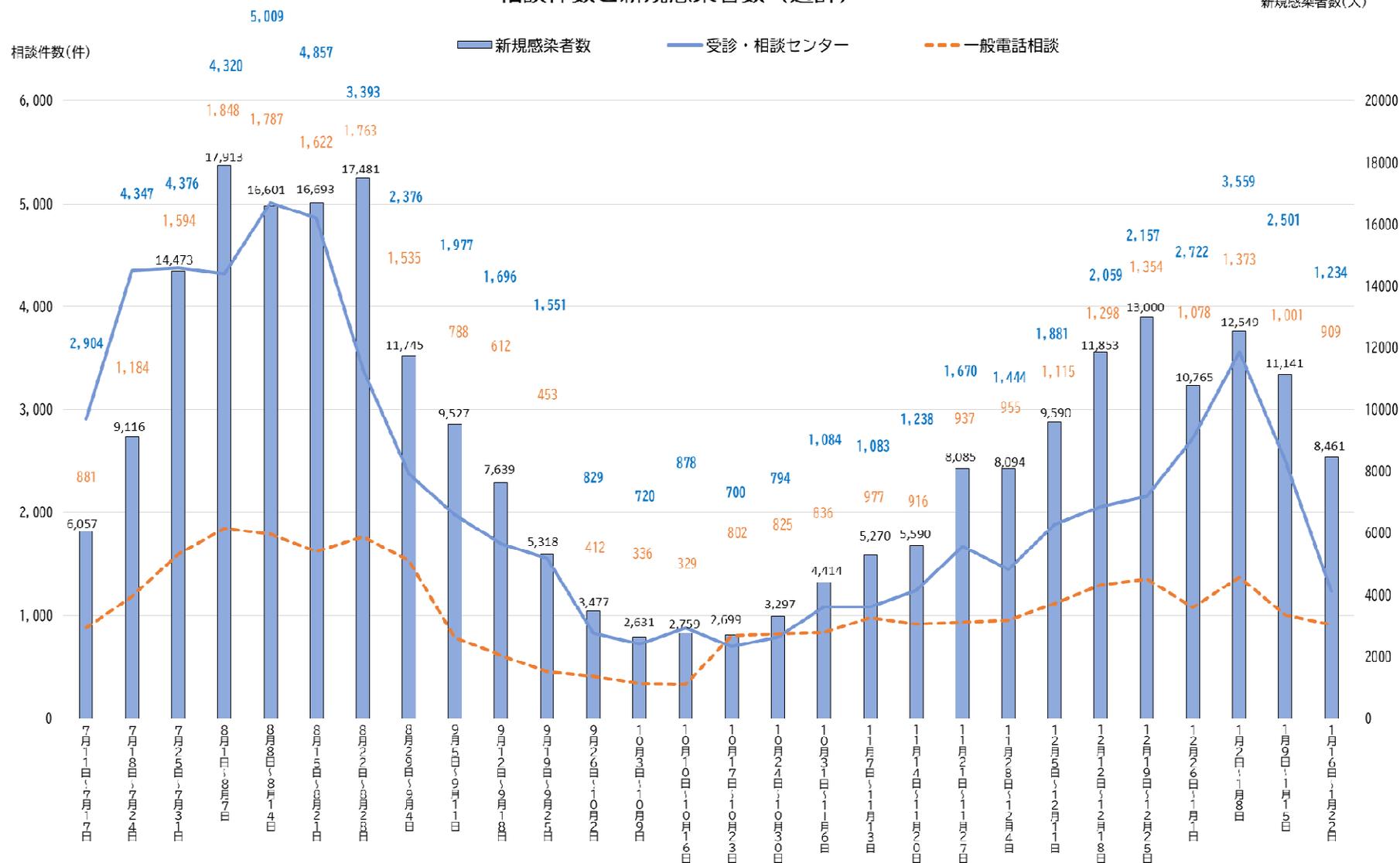
6)PCR等検査の状況(陰性確認を除く)



7) 相談体制について

相談件数と新規感染者数（週計）

新規感染者数(人)



評価(1/16~1/22の感染状況)

- 全国の新規陽性者数は、減少傾向（実行再生産数Rtが1より小さい。）になってきました。
- 本県も減少傾向にあり1月22日時点で今週先週比は0.76、直近1週間における人口10万人当たりの新規報告数は598.4となりピーク時の1月11日の1016.5から約40%減少しました。年代別でも、全ての年代で減少しています。
- 最大確保病床に対する占有率は1月22日時点で75.0%と減少傾向ですが、依然高い水準で推移しています。重症病床の占有率は9.6%と10%前後で推移しています。
- 受験や転勤等で移動が多くなったり、普段会わない人との接触の機会が多くなると、更なる医療のひっ迫を招く恐れがあります。改めて、場面に応じたマスク着用、換気、手指消毒など基本的な感染対策は継続してお願いします。
- 高齢者施設等で継続して感染者が報告されています。換気が十分でない場合が多く、寒い時期で常時換気が難しいところですが、ケア時の居室や食事時など、人が密になる場面で特に気を付けて換気をお願いします。医療・介護サービスを安全かつ継続的に提供するため、また職員自身の健康を守るため、感染対策の知識を習得しそれを実践しましょう。
- 本県では、1月17日から2月20日の期間を「オミクロン株対応ワクチン“一人1回”接種促進強化期間」とし、ワクチン接種の促進を図っています。ワクチンの効果は徐々に減弱するので、オミクロン株対応ワクチンを接種していない方は、もう1回のオミクロン株対応ワクチン接種を検討してください。インフルエンザワクチンとの同時接種も可能です。
- インフルエンザとの同時流行が懸念されています。本県の令和5年第2週(1/9~1/15)のインフルエンザ定点医療機関当たりの報告数は5.53と流行期入りしました。全国的に増加してきており、警報や注意報レベルの県もあります。今後の動向に注視が必要です。